



# 玻璃窓に映る (はりまど) 吾妻の...

福女校歌2番より (草野心平 作詞)



## 母校シリーズ(28) 「校庭から望む吾妻小富士」

発行  
福島県立  
橋高等学校同窓会  
(福島女子高等学校同窓会)

発行人  
藤田 美智子

発行所  
福島市宮下町7-41  
電話(024)535-3395  
FAX(024)535-3397

会員数  
39,093名  
(2022.3 現在)

母校創立 125年



### 新たな一歩を

同窓会会長 藤田 美智子

(昭和47年卒)

今年度の同窓会役員改選により、坪井有子前会長の後を引き継ぐことになりました。

退職を機に、友人の誘いもあり同窓会の評議員さらに役員を務めてまいりました。それまでは会の活動にあまり関心を寄せることはなかったのですが、携わってみて初めて、同窓会の活動を支えてくださった方々の思いやご苦労を知ることができました。

最近「高校時代にとっておきの思い出」という小文の執筆にあたり、高校時代を振り返る機会を得ました。個性豊かな級友たちや知的好奇心を大いに刺激してくださった先生方との出会い、生徒会活動やたちばな祭などの行事への取り組み…。高校生活の三年間が、その後の自分の生き方に大きく関わっていたことを改めて感じました。そして、自分が同窓会の活動に携わることがとても自然な成り行きであるように思えてきました。同窓会とは、母校と私たち、在

校生と私たち同窓生、同窓生どうしを「つなぐ」ものなのだろうと思います。この会報「同窓」もその役目を果たすもののひとつと考えております。

コロナ禍のこの三年間、残念ながら同窓会総会も縮小して開催するほかはありませんでした。来年度は、グリーンパレスを会場に、出席者の枠を少し広げて開催する予定で準備を進めております。

また、さまざまな分野で活躍されている同窓生による同窓生のための講演会「橘セミナー」を企画していきます。第一回は、歌人の駒田晶子さんを講師にお招きする予定です。

これまで先輩方が築いてきてくださった同窓会の歴史を大事にしながら、新たな一歩を踏み出していきたいと考えております。非力ではありますが、誠心誠意務めてまいりますので、会員の皆様のご協力、ご支援をどうぞよろしくお願いたします。

## 引き継がれる「橘文化」

校長 菊池 直之



同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に多大なるご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。今年度四月に

校長として着任以来、同窓会総会等の折りに触れて、創立一二五年の歴史の重みと皆様の母校への溢れる愛情と大きな期待を感じ、身が引き締まる思いです。

さて、長引くコロナ禍も三年目に突入り、夏場には過去最悪の流行第七波が襲来しましたが、以前とは違い政府による行動制限は出されず、本校では三年ぶりに二年生の修学旅行を実施できたことは大変意義深いことでした。生徒たちはコロナ禍にも負けずに、学業や部活動等に日々全力で取り組み、光り輝く姿を見せてきています。

ところで本校には、生徒たちの主体的・自主的な活動により創造される質の高い「橘文化」が伝承されています。今年度も、全て先輩たちの手によって運営される「新入生歓迎会」、そして後輩たちによって先輩たちへ感謝の気持ちを伝える「たちばな祭」の閉祭式、その薫り高い「橘文化」が花開く様を見ることができました。さらに、本校創立百周年を記念して、当時の在校生たちからの応募により制作された青春歌「マイ・ロード」は、まさに「橘文化」を象徴するものと言えるでしょう。

「自主・自律・自立」という校訓の下、地域に根ざした学校であり続け、社会に貢献する高い志を持った生徒を育成することが、本校に課せられた使命であると考えております。今後とも、会員の皆様の変わらぬご支援とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 令和4年度 福島県立橘高等学校同窓会 一般会計予算書

収入金額 2,340,904円 自 令和4年4月1日  
支出金額 2,340,904円 至 令和5年3月31日

収入 (単位:円)

項目	予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
会費	1,820,000	1,820,000	0	同窓会費6,500円×280名
雑収入	10,000	10,000	0	利息・寄付金
繰越金	510,904	544,822	△33,918	
合計	2,340,904	2,374,822	△33,918	

支出 (単位:円)

項目	予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
会議費	10,000	10,000	0	役員会会議費等
総会費	70,000	70,000	0	総会要項等
助成費	700,000	700,000	0	全国大会出場助成、看板、卒業記念品等
慶弔費	100,000	150,000	△50,000	慶弔・支部総会祝金等
通信費	40,000	40,000	0	切手・はがき代等
旅費	60,000	60,000	0	支部総会等旅費
事務費	550,000	550,000	0	事務用品・事務作業手当等
維持費	560,000	560,000	0	セミナーハウス維持管理費 280名×2,000円
積立金	200,000	200,000	0	
予備費	50,904	34,822	16,082	
合計	2,340,904	2,374,822	△33,918	

(執行にあたっては項目間の流用を認めるものとする)

## 令和3年度 福島県立橘高等学校同窓会 一般会計決算書

収入金額 2,364,834円 自 令和3年4月1日  
支出金額 1,853,930円 至 令和4年3月31日  
次期繰越金 510,904円

収入 (単位:円)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
会費	1,820,000	1,820,000	0	6,500円×280名
雑収入	10,000	12	△9,988	利息
繰越金	544,822	544,822	0	
合計	2,374,822	2,364,834	△9,988	

支出 (単位:円)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
会議費	10,000	0	△10,000	
総会費	70,000	70,000	0	総会要項等
助成費	700,000	600,255	△99,745	全国大会出場助成・看板代・卒業記念品等
慶弔費	150,000	11,604	△138,396	弔電、花輪代
通信費	40,000	25,300	△14,700	切手、はがき代等
旅費	60,000	0	△60,000	
事務費	550,000	286,771	△263,229	事務用品、事務作業手当等
維持費	560,000	560,000	0	セミナーハウス維持管理費
積立金	200,000	300,000	100,000	積立金
予備費	34,822	0	△34,822	
合計	2,374,822	1,853,930	△520,892	

## 同窓会館たちばなセミナーハウス維持管理費報告

収入金額 9,026,343円  
支出金額 344,136円  
次期繰越金 8,682,207円

収入 (単位:円)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
会費	560,000	560,000	0	2,000円×280名
雑収入	0	0	0	
繰越金	8,466,343	8,466,343	0	
合計	9,026,343	9,026,343	0	

支出 (単位:円)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
維持経費	500,000	344,136	△155,864	光熱水費、業者清掃等
施設維持管理費	8,526,343	0	△8,526,343	
合計	9,026,343	344,136	△8,682,207	

## 令和3年度同窓会積立金

積立金 2,892,954円

## 令和3年度同窓会基金

積立基金 15,405,228円

## 令和3年度同窓会協力金

収入金額 7,116,262円 自 令和3年4月1日  
支出金額 3,128,180円 至 令和4年3月31日  
次期繰越額 3,988,082円

収入 (単位:円)

項目	金額	摘要
協力金	3,596,767	
預金利息	327	
前年度繰越金	3,519,168	
合計	7,116,262	

支出 (単位:円)

項目	金額	摘要
会報発行費 印刷代等	486,948	24,300部
送料	2,623,953	22,904通
需用費	17,279	卒業アルバム事務局保存用等
合計	3,128,180	

監査いたしました結果、会計は適正に執行され、上記のとおり相違ないことを認めます。

令和4年4月6日

監査 菅野千代子

佐藤恵子





# 全国大会出場おめでとう コロナ禍の下 全国で輝く!

## ◆全国大会出場◆

### 演劇部

▽第8回高校生短編演劇競技大会

最優秀賞  
高校短編戯曲賞・俳優賞  
引地 悠斗

### 弓道部

▽令和4年度全国高等学校総合体育大会  
第67回全国高等学校弓道大会

女子個人 大橋 真子  
女子団体 大橋 真子  
六戸 蒼依 佐久間雪月  
大友 那菜 大橋 真子  
高野莉々楓 八巻 愛香

▽令和4年度第41回全国高等学校弓道選抜大会  
女子個人 佐久間雪月



弓道部

### 囲碁部

▽第46回全国高等学校総合文化祭

碁部門  
個人戦 板垣 健太  
団体戦 青木 駿 會田 瑞希  
青木 柚月



囲碁部

▽第46回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権全国大会

男子団体戦 青木 駿 富田 雄平  
板垣 健太 會田 瑞希  
女子団体戦 青木 柚月 柏谷奈津希

男子個人戦 武藤 光咲 佐藤 悠姫  
女子個人戦 青木 駿 青戸 柚月

### 陸上部

▽令和4年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会

秩父宮賜杯第75回全国高等学校陸上競技対校選手権大会  
上競技対校選手権大会  
女子走幅跳 鈴木 沙和



陸上部(左側)

### ゴルフ

▽全国高等学校ゴルフ選手権春季大会  
文部科学大臣杯争奪第43回  
個人の部 板垣 結叶



ゴルフ

### フェンシング

▽令和4年度全国高等学校総合体育大会  
第68回全国高等学校フェンシング選手権大会

個人対抗女子サーブル  
齋藤 有里 菅野 那月



フェンシング

### 管弦楽部

▽第11回日本学校合奏コンクール  
全国大会グランドコンテスト  
高等学校の部



管弦楽部

写真提供 株式会社フォトライフ

なつかしの  
あの顔この顔



FCからたち会「30周年を祝う会」 於：エルティ



橘ゴルフ会コンペ 於：パーシモンC.C.

令和四年三月卒業生の  
大学合格状況と進路状況

令和四年度入試は、「大学入学共通テスト」二年目。当初より大学入試関連企業の予想通り、大幅な「難化」傾向となり、文系、理系ともに合格点が前年度より一〇%ほど下がりました。特に数学や生物、化学、日本史Bで平均点が大きく下がり、本校も理型生徒諸君を中心に大変苦しい受験だったと思います。

しかし、この状況の中でも別表の通り、福島大学や福島県立医科大学(どちらも昨年度に引き続き県内で一位の合格者数)など、地元大学への合格者を多く輩出しました。さらに、東北大学を始めとした県外の大学にも多くの合格者を輩出しました。結果として、国公立大学の合格者数は一九六名、橘高校になってから最多の人数となりました。また、私立大学においても果敢に挑戦し、多くの合格者が出ました。

例年、小論文指導等では同窓会館を利用していただいております。このような環境にあることも進路実績の大きなプラス要因です。この場をお借りして、同窓会の皆さまには心より感謝申し上げます。

(進路指導主事 堀江 勇一)

令和4年度 入試合格状況

(4月1日現在)

Table with columns for National University, Public University, Private University, and Private University. Rows list various universities and their statistics (Current, Graduated).

※表中の数字は、「合格者数」である。  
※表中の「過年度卒」欄の合格者数については、既卒生徒で報告のあった人数を示している。



### 夜間中学を ご存じですか？

大谷 一代 (昭和57年卒)

福島女子高校  
在学中は、二つ  
年下の弟が中学  
校で不登校(当

## マイドリム・マイロード

### 活躍する先輩・後輩

時は義務教育の学校に通わないのは珍しく、登校拒否と言われている時期でした。

今は亡き弟の問題提起のおかげで、私は後にライフワークになる夜間中学運動に出会うことになりました。

したことは、忘れられません。千四百人の校歌斉唱で迎えられ赴任した時は生徒たちが学習意欲に満ち、感性豊かなことに、国語科教員として感銘を受けました。「舞姫」や「山月記」、そして「こころ」など定番と呼ばれる小説教材の授業でも、読解を通して、心の闇の部分に生徒たちの目が開かれ、人間存在への理解が深まっていくことを実感しました。



### 「信夫山 松と桜の」

青木 崇郎

昭和60年4月〜平成6年3月  
(福島市在住)

私が福島女子高校にお世話になったのは昭和から平成にかけての頃ですが、クラスの生徒には、個性溢れる者がたくさんいて、色々な思い出があります。例えば、三年時の文化祭でのクラスの演劇はヤクザもので、私は生徒らとともに着流しで、組の親分として出るようになりました。最後は相手の親分(ソフト部の生徒)との闘いに敗れて壇上に斃れ、任侠道の美学を示

卒業生からある時、宮沢賢治の詩句についての感想をもらったこともありましたが、今は科目の上から文学教材を読む機会が減っていくように、残念な思いがします。私自身、高校生の時にバレーボールに打ち込みましたので、福女でも放課後は楽しみでした。一年目はソフトボール部の顧問として、毎日練習に参加し、その競技としての魅力を味わいました。その後はバレーボール部顧問として、レシーブ練習やゲーム等で生徒とともに、毎日体育館で汗を流しました。大会では、インターハイ県準優勝という素晴らしい成績を挙げることができましたが、それも、生徒たちが勉強との両立という難しい生活に挑み、厳しい練習に耐えて頑張ってきた成果であると確信しています。

今は、教科・部活としてクラス担任など色々な面から、福女の素晴らしい生徒たちの成長に、少しでも関わることができたことに心から感謝するとともに、橘高校の生徒諸君の文武にわたる活躍を祈念する次第です。

福島女子高校では、女性の人権について学ぶことが多かったように思います。女子参政権に関して、先人の業績に感動し、遅く生まれたため選挙権を勝ち取る戦いに参加出来なかったことには、悔しいものがありました。まだ社会には女性が勝ち取らなければいけない権利がたくさん残っていることに気がつくのは、後のことになりました。

「女性に学問は要らない」といわれたのは、そう大昔のことではなく、まだ女性であるために学校に行かせてもらえなかった方々が、大勢ご健在です。彼女たちが学校に通えるうちに、福島県内に、日本に、まんべんなく夜間中学をつくって、憲法二十六条で保障された教育を受ける権利をすべての人に保障されるようにするのが、今の私の夢です。

夜間中学ができれば、ほかのさまざまな理由で学齢期に就学できなかった方、学校に通ってはいられど、十分な学力が身につかなかった方、母国で十分な教育を受けられなかった外国から来られた方の助けになります。

後輩の皆さん、現役の教員の方々は、二〇二四年に開設される福島市立夜間中学へ赴任することも考えてみてください。

大谷一代プロフィール  
東北薬科大学卒業  
東北大学法科大学院中退  
福島に公立夜間中学をつくる会代表

### 私の原点

石田 彩音 (平成22年卒)



私の高校生活は中学生の頃から憧れ続けた合唱部に入部することから始まりました。入部するとすぐ膨大な曲



ハルモニア アンサンブルBS-TBS 日本名曲アルバム収録  
後列右から3人目が筆者

数の楽譜を渡され、先輩方と共に譜読み、練習、暗譜。朝練、昼練、放課後、土日ももちろん練習。教室に戻っても頭の中は部活のことばかり。先生方には怒られてしまいましたが、授業中も教科書の下に楽譜をしのびながら眺めていたくらい。三年間部活をするために学校に行っていた、と言っても過言ではありませんでした。

そんな私ですが、現在は音楽家として東京混声合唱団やハルモニアンサンブル、杜の音シンガーズでTV出演やレコーディング、全国各地の舞台や小中学校で公演をしています。当時の私は中学校の音楽の先生になることが夢でしたので、まさか歌を職業にするとはいえませんが、今は複数の公演を同時に進めて稽古をしていきます。そうすると必然的に曲数が増え、譜読み、練



# 学年だより

## 制服の思い出

齋藤(渡辺)ミヨ(昭和32年卒)

十年前、大勢で総会に参加しました。「今日はありがとう」「会えてよかった」「何年振り?」等々の言葉が飛び交い五十年前にタイムスリップ。三代の校歌が披露され、歴史と伝統の素晴らしさを感じみじみと感じました。

在学中の最大の思い出は一年生時の制服の制定です。衿に福女のマークのついたダブルのセーラー服。ウエストが少ししぼってあり、ちよつぷり大人になった気分を誇りを持って身につけたことが懐かしい思い出です。この制服が五十年続いたことを嬉しく思います。



リカちゃん人形  
平成21年作製

京都・奈良方面の修学旅行にも制服姿。モノクロの記念写真撮影では生徒達は直立不動。先生はスーツ・ハンドバッグ・パンプス姿で収まりました。

あれから六十七年。いつの間にか最高学年幹事(?)は終わりと思うと、嬉しいような寂しいような思い出です。これで最後となりませんが同期生の皆さま、お元気で楽しい人生でありますように。

## 人生を楽しめ!

橘(菅藤)美知子(昭和42年卒)

担任の柴田宣教先生は桑折町の山寺(常称寺)の和尚様でもある。「毎朝読経をする。みんなも漢字に親しんでみたら」とHRに漢文の音読開始。「雨月物語」等々、先生の解説も楽しい。しかし「物理の先生が漢文を教えている」と職員室で物議を醸し、打ち切り。残念だった。

また、先生が「空気がきれいな大根も白菜もいっぱいある」と山寺に誘ってくれた。青空が広がる野菜畑で、大鍋を囲んで、クラスメートとのんびり食べた芋煮会。野菜汁のあったかかったこと。

縁あって先生の退職後に訪れた野菜畑は一面ピンクに輝き、香り漂うしだれ桜の園に変貌していた。生徒に人生の楽しみ方を教えて下さった先生。大小様々なしだれ桜に囲まれ、たくさんの人々が憩う山寺を創り、鬼籍に入られた。

## 十七の春と美術室

穴戸(後藤)美喜子(昭和52年卒)

高二の後半にもなると、進路選択が切実な事となってくる。毎日バレーボールに明け暮れながらも、就職か進学か。進学するのなら何を学びたいのか(好きな美術の世界に身を置くことは、夢のよ

うな事という意識があった)迷う気持ちを抱え高三の春を迎えた。新学期最初の美術の授業。使い慣れた美術室に一歩足を踏み入れると、正面に見慣れたはずのラポルト、マルス、ヴィーナスなどの石膏像。その姿に目を奪われ「美しいな」と胸が震えた。初めての感覚だ。恩師嶋原守先生がおっしゃった。「志したことをしようとするとき、初めからうまくいくことはないのだ。何度でもやり直していいのだ」と。さらに胸を打たれ、美術の道に進もうと思った。デザインにはなれなかったが、中学校の美術教師が私の仕事となった。

## 小箱の中に希望の花

菅野 寿井(昭和62年卒)

十年ぶりの当番幹事。前回は震災の翌年で、関連業務で忙しい日々を過ごしていましたが、懐かしい友人と会って話して、元気が出たことを思い出しました。今回はコロナ禍で、各学年二名ずつの少人数での総会開催。変異ウイルスに翻弄され、三年連続で総会のみと寂しい状況でしたが、お土産にいただいた小箱には橘高と旧女子高



がぎゅっと詰まっています。心が温かくなりました。橘の花形の練り切りと、撫

子の焼印付のお饅頭、くす玉を模した紅白の和三盆がきれいに並び、老舗和菓子店の同窓生と事務局の心遣いが嬉しく、例年なら懇親会で歌う各年代の校歌とも重なって、胸に迫る想いがありました。制約の多い日々はもう少し続きそうですが、喜びを見つける心や、つながりを大切にその先の希望を信じたいと思います。

## 心の拠りどころ

大槻(佐久間)聡美(平成2年卒)

前回の総会時には六十名が出席し、東日本大震災の翌年ということもあり、懐かしさとともに旧友を想う気持ちで溢れました。「また十年後に会いましょう」と言っておりましたが、今回は叶わず幹事数名での総会出席となりました。

卒業後、バブル崩壊や女性の役割の変化、そして自然災害など様々な困難に遭い、誰もが、どうしたらよいかと立ち止まったことがあったことでしょう。そういったときに、ふと、学生時代の楽しかったことなどが思い出され、心の拠りどころとなりますが、前回は、その思いとタイムリングが合い、良い時間が過ごせたと思います。しかしながら、今回はコロナにより、会うことが制限され、大変残念でした。

今回は還暦を越え、時間や心の余裕が生まれている時期となります。今回お会いできなかった分をプラスして、ゆっくりとお話して、できることを楽しみにしております。

## 次回はぜひ!

河野まきこ(平成12年卒)

某通信教育会社の「二〇〇〇年、春、大学生」みたいなキャッチコピーのCMが流れる頃に卒業した我ら。あれからなんと二十三年が過ぎました。皆さんいかがお過ごしでしょうか? 個人的には橘高校の図書館に勤務し早三年。橘になって変わった部分と、福女時代から変わらない部分を見つめながら仕事を日々です。

今年度は卒年に2のつく学年が当番とのことで、総会前に学年幹事の方々に電話で参加をお誘いしました。皆さん子育てや仕事で忙しかったり、遠方に住んでいたりで、結果的には私一人での参加となり少々心細い気もしましたが、一方で、それぞれの道でそれぞれが元気に頑張っていることがわかり、嬉しく励まされる気持ちにもなりました。次回は少し余裕ができて、感染症も落ち着いて、縮小版ではない本来の総会の場でも多くの方の懐かしい皆さんに再会できることを願っております。

## お知らせ

今回より会報は、名簿上同一住所の会員については、一通の送付となります。

## あとがき

この会報で母校や、先輩と後輩の活躍、同窓生の様子をお知らせすることにより、皆様との強い絆になることを願っております。